

次世代の総合的な交通体系検討会

第2回検討会

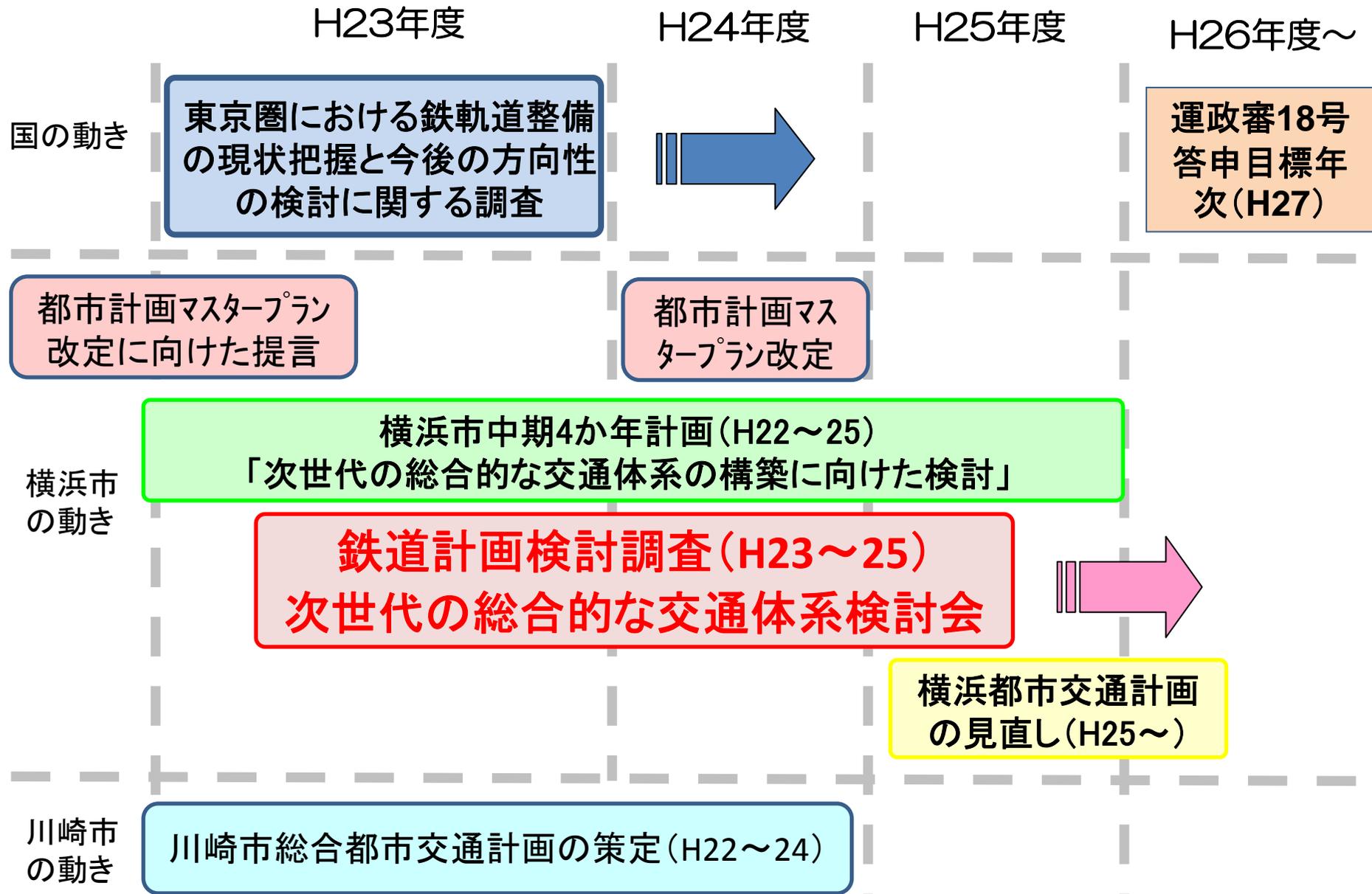
本日の検討項目と全体スケジュール

平成24年6月25日

検討会の目的

- 横浜市における鉄道の現状を整理するとともに、近年開業した鉄道路線における整備効果を検証し、将来の高齢化・生産年齢人口の減少を見据えた交通（鉄道、バス等端末交通、駅）に関する課題を抽出する。
- 鉄道整備によって得られる効果（速達性やまちづくりなど）の検討を踏まえ、運輸政策審議会第18号答申路線のうち未着手である路線の必要性や事業の採算性について検討する。
さらに、鉄道・バス等次世代の総合的な交通体系について検討し、方向性を示す。

上位計画の動きと検討会のスケジュール



本日の検討項目

1. 近年整備済み3路線の整備効果の検証

・横浜市における近年開業した3路線について、利用状況、鉄道整備による効果・影響を検証する

○横浜市営地下鉄1号線(戸塚～湘南台)(H11.8開業)

○横浜市営地下鉄4号線(H20.3開業)

○みなとみらい線(H16.2開業)

2. 将来を見据えた交通に関わる課題の整理

・横浜の都市づくりの方向性を踏まえ、近年の社会経済状況・交通流動の変化や将来の動向を見据えた交通(鉄道、バス等端末交通、駅)に関わる課題を整理する

3. 運輸政策審議会答申未着手路線の概要

・横浜市域における18号答申未着手路線のレビューを行う

○高速鉄道3号線の延伸(あざみ野～新百合ヶ丘)

○横浜環状鉄道(仮称)の新設

○東海道貨物支線の旅客線化

検討会・ワーキングの経過と今後の議題予定(案)

